

広報

No.168



昭和62年 6月15日

発行・編集 国見町企画課

※※※※※
おもな内容
※※※※※

河川に生息する生物調べ	2~3
一日署長やテント村	4
曳地一さんが『郭公章』を受章	5
愛の献血に213人	6
ふるさとの文化財	7
おしらせ	8~9
公民館だより	10~11
わだい	12



'87
6月

公立藤田総合病院

吉田明美さん (22歳) (森山字東新田50 隆夫さんの長女)

吉田さんは高校卒業後、看護学校を経て、今年4月に公立藤田総合病院に看護婦として勤務、現在、東3病棟で入院患者の看護をしています。公立藤田総合病院は内科、胃腸科をはじめ12科、429床のベッドがあり、入院患者は334人、5月の一日平均の外来患者数は1,160人。「今は、毎日が夢中です」という彼女。やさしい笑顔が印象的でした。

河川に生息する

生物調べ

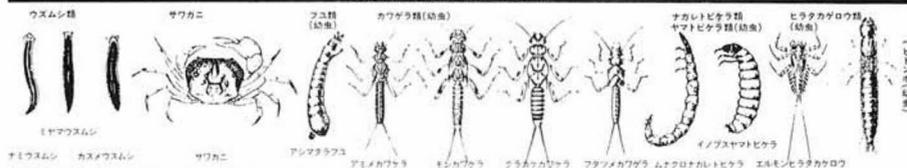
七月は河川愛護月間



▲竜護院川（藤田字中沢）で

七月は、河川愛護月間です。私たちの周りには、大小のたくさんの河川があり、私たちの生活に、深いかわりをもたらしています。それらの河川は、きれいでしょいか？
 そうとも、汚れているでしよいか？
 これらを判定するのに、河川に生息する生物の種類を調査する「生物学的な水質調査」があります。
 町では、昭和五十九年五月に引き続き、去る五月二十七日に、前回と同じく、町内主要河川十一か所、この「生物学的な水質調査」を実施しました。
 結果は別表のとおりです。
 前回と比べてみて、少し河川の汚れが進んだように思われます。水は、私たちに潤いを与えてくれます。きれいな河川を、私たち自身の手でとり戻しましょう。

①きれいな水(I)の指標生物



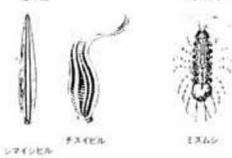
②きれいな水(I)と少しよごれた水(II)との共通指標生物



③少しよごれた水(II)の指標生物



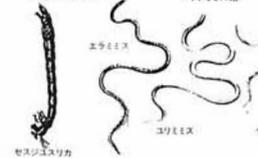
④きたない水(III)の指標生物



⑤きたない水(III)と大変きたない水(IV)との共通の指標生物



⑥大変きたない水(IV)の指標生物





▲牛沢川（西大枝字築館）で



▲滝川（内谷字西堂）で



▲牛沢川（光明寺）で



▲滝川・阿武隈川合流点（川内）で

河川に生息する生物調べ

調査河川および場所			生		物	
			今	回	前	回（\$59.5\$）
1	上泉川 （旧小坂峠入口付近）	シマトビケラ3 その他のカゲロウ類3 ヘビトンボ1	ヒラダカゲロウ類4	サワガニ1 ヘビトンボの仲間3 カゲロウ類4 カワゲラ類3		
2	滝川 （内谷字西堂）	ヒル類9 ミズムシ7 ヒゲナガトビケラ2		コカゲロウ26 トビケラ2 ヒル2 ヘビトンボ2		
3	竜護院川 （藤田字中沢）	ヒル類16 ミズムシ50		ヒル8 ミズムシ3		
4	普蔵川・佐久間川合流点 （徳江字前原）	ヒラタカゲロウ類2 ヒル類3 ミズムシ4 イトミミズ類8	ヘビトンボ1	ヒル5 ミズムシ7 トビケラ類5		
5	沢田堀 （藤田字北）	ヒル類50 ミズムシ3		ヒル1 オオユスリカ8 ミズムシ2		
6	滝川 （藤田字滑沢）		ヘビトンボ1 ヒル類5	ヒル3 カゲロウ類4 ミズムシ14		
7	滑（なめりがわ）川 （森山字堀ノ内）	ヒル類24 ミズムシ4		ヒル2 ミズムシ9		
8	武士沢川 （大木戸字細蔵）	ウズムシ類3 ヘビトンボ11 カゲロウ類1	プユ類2 カワゲラ類3	ガガンボカゲロウ23 ヤゴ1		
9	牛沢川 （光明寺字車）	ヒル類10 ミズムシ37		ゲンゴロウ類の幼虫1 ミズムシ9 トビケラ類1		
10	牛沢川 （西大枝字築館）	プユ類1 ヒル類8 イトミミズ類3	ミズムシ4	ヒル5 ミズムシ19 カゲロウ類2		
11	滝川・阿武隈川合流点 （川内）	カゲロウ類3 ヒル類6 ミズムシ5		ヒル2 ミズムシ1 カゲロウ類1 トビケラ類1		

一日署長やテント村

～春の全国交通安全運動～

八島助役

（町長職務代理者）が

一日署長



▲パレード途中にテント村を訪問

「春の全国交通安全運動」初の五月十一日、桑折警察署では、八島忠雄町長職務代理者助役に、一日署長を委嘱し、桑折、国見両町内で交通安全車両パレードを行いました。

この日午後一時過ぎに、大川戸桑折警察署長から一日署長の委嘱状を手渡された八島署長は、同署前で行われた出陣式で「交通事故のない町実現を目指して頑張ってください」と、出席した署員を激励しました。

この後、八島助役や桑折署員、

さらに県交通安全協会桑折支部の青年部員らがバトカーやトラック七台に分乗、約一時間をかけ、国見、桑折両町内をパレードし、交通安全をPRしました。また、桑折町、飯屋交差点北側の四号国道沿いでは、関所作戦と銘打ったテント村作戦が繰り広げられ、八島一日署長は、参加した交通安全母の会連合会や桑折ライオンズクラブのメンバーに、ねぎらいの言葉をかけていました。

テント村で
交通安全を

呼びかけ

貝田・藤田で

「春の全国交通安全運動」の一環として、町交通安全対策協議会では、五月十三日に貝田で、また五月十八日には藤田で、それぞれ桑折警察署員、交通安全協会各支部会の役員、母の会の皆さんの協力のもと、テント村を実施し、道行くドライバーに交通安全を呼びかけました。

貝田では、県境の国道四号で、宮城県から入ってくるドライバーに、ティッシュペーパーやチラシを配り、「安全運転に心がけてください」と呼びかけました。

交通安全モデル地区となっている藤田では、商工会館前の交差点三か所、信号待ちのドライバーにティッシュペーパーやチラシを配り、「気を付けて運転してください」と呼びかけました。



▲貝田でのテント村



▲商工会館前ではバイクの点検も実施

また、バイクを対象とした点検を、二輪車安全運転指導員の岡崎長市さんらが、プレレキ、タイヤの空気圧、クラクションなどの点検指導もあわせて行われました。

松浦裕子さん（西大枝 出身体）
全日本で
堂々ベスト8



西大枝字築館出身の松浦裕子さん（山形・左沢高二年、二段）が、五月三十一日、大阪、守口市民体育館で、全国の強豪六十四選手が参加して行われた第二十六回全日本女子剣道選手権に出場、堂々ベスト8に進出しました。

松浦さんは、県北中学校時代の昭和五十八、六十年と二度東北制覇しており、全日本のチャンピオンになるため、山形の高校に進学、毎日練習に励んでいます。

曳地さんが 『郭公章』を受章

『ボーイスカウト日本連盟から』



▲「郭公章」を胸に喜びの曳地さん

五月十六、十七日の二日間にわたり、横浜市の神奈川県立青少年センターで行われたボーイスカウト日本連盟六十二年度年次全国大会の席上、ボーイスカウト福島連盟五十三団委員長の曳地一さん(本町、七十九歳)に、日本連盟から「郭公章」が贈られました。

「郭公章」は、全国で百四人、県内では二人が受章しました。曳地さんは、昭和四十三年五月五日の初団式以来、二十年間にわたりボーイスカウト五十三団(国見町)の団委員長を務められました。今回、この長年にわたるボーイスカウト運動発展のため協力された功績が認められ、受章となったものです。

「身に余る光栄です。家内をはじめ家族の協力があったおかげです。早いもので、この町にボーイスカウトができてから二十年たちました。今後も、次代を担う青少年の健全育成のため、ボーイスカウト活動を続けていきます。」と受章の喜びを語る曳地さん。奥さんとのみこさんも、県ボーイスカウト連盟から昭和五十四年に感謝状が贈られています。

現在、ボーイスカウト団員は四十人。「団員のお母さんからボーイスカウ

トに入ったおかげで家の手伝いをしてくれて大変助かります」などと言われ、ボーイスカウトを続けてきて良かったなあとつくづく感じてます。ただ、悩みは女性を含む指導者が不足していること。ボーイスカウトに興味のある方は、ぜひ協力していただきたいと思えます。」と話していました。

シンガポールの 女性が民宿

二十一世紀友情計画アセアン青年受け入れ事業(国が五ヶ年計画で行うもので今年が四年目)で来日した、アセアン各国の青年たちのうち二十三人が来福し、県内各地に民泊しました。

国見町には、シンガポールのバン・スー・ランさん(二十八歳)が本町し、小坂の佐藤裕さん宅に民泊しました。

バンさんは、五月十日に来日、六月九日までの一か月間、日本に滞在しましたが、「日本の家庭の味を」と、五月二十八日から三十一日までの四日間、佐藤さん方で民泊、日本家庭での生活を体験しました。

佐藤さんは、福島県若人の翼で海外派遣の経験があり、その

経験を生かしての受け入れとなったものです。

五月二十九日には、佐藤さん、通訳の紺野恵子さん(本町)とともに役場を訪れ、蓬田教育長らと歓談しました。

佐藤さんの家庭でプライベートルタイムを過ごしたバンさんは、とても満足し、喜んで帰られたとのことでした。



▲バンさん(右から2人目)を囲んで

地域懇談会が 開かれる

五月二十八日午前十時三十分から、役場会議室で、国見町地域懇談会が開催されました。

「東北電力サービス旬間」として、東北電力が主催となつて開かれたもので、東北電力からは十一人、町からは八島忠雄町

長職務代理者助役はじめ担当課長、町議会から玉手昭市副議長、また、県物産モニターの渡部良子さんら各界代表十五人が出席しました。

半澤勝義東北電力株式会社福島営業所長のあいさつのおと、八島助役が「日夜、電気の供給に尽力されている皆さんに感謝いたします。今後も、電気の安定供給のため努力をお願いします。」とあいさつを述べました。

この後懇談に入り、「円高による電気料金の値下げについては」「停電の際には、いつまで時間がかかるのかPRでできないか」などの要望が出され、また、電力側からは、「(へ)びや鳥などによる停電が多い。情報をいただければ早く回復できます。」などの意見交換がなされました。



▲活発に意見交換された懇談会

ふるさとの文化財

西大窪館

菊池 利雄



西大窪館要図 (国見町役場所蔵、大木戸村地籍図によって作成 菊池利雄)

西大窪館は、大木戸字館の地にあつて高城との村境に沿つて、南流する牛沢川西岸、標高五十八の西根台地上に立地する。現在、館遺構の大部分は耕地化されて、館の景観は失われてしまつたが、南西部に残る出角、

この館のある西大窪(現大窪)は、天文七年(一五三八)の「伊達氏段銭古帳」では、大窪郷(大窪)の一部で、東大窪(大窪)を居館とした伊達氏譜代

入角、東側の土塁や水濠の一部に痕跡をとめている。西側から南側にかけては郭の外側に沿つて、水路がめぐらされてお

これら館の現況を、明治の地籍図(国見町蔵)による地割と照合して、西大窪館の復原を試みてみれば、東西九十、百三十、南北七十、百十、総面積約百三十(反)の規模をもつ、単

北東部が考えられる。この館の現況を、明治の地籍図(国見町蔵)による地割と照合して、西大窪館の復原を試みてみれば、東西九十、百三十、南北七十、百十、総面積約百三十(反)の規模をもつ、単

入角、東側の土塁や水濠の一部に痕跡をとめている。西側から南側にかけては郭の外側に沿つて、水路がめぐらされてお

館の跡の城とも考えられる。この館のある西大窪(現大窪)は、天文七年(一五三八)の「伊達氏段銭古帳」では、大窪郷(大窪)の一部で、東大窪(大窪)を居館とした伊達氏譜代

方形平地館が主に築かれた鎌倉時代以降のもので、室町時代初期の構築とみられる。濠水は森山郷の涌水より揚水された堰より取水されており、西六

西大窪に於ては、大窪郷(大窪)の歴史は古く中世に引き継がれており、この灌漑源となつたのは、館のすぐ東側に牛沢川より堰上げられた孝徳堰であり、灌

大窪に於ては、大窪郷(大窪)の歴史は古く中世に引き継がれており、この灌漑源となつたのは、館のすぐ東側に牛沢川より堰上げられた孝徳堰であり、灌

三月に伊達植宗が萱場鶴増(現野原)に、与えた所領安堵状によれば、「西大窪所より買地、伊達西根中目(現森山の内)一宇残らず、年貢六貫文」とあり、また天正四年(一五七六)八月の、「伊達輝宗相馬御着陣例」(伊達家文書)には、第十一番目衆の部将として、桑折・下郡山・桐窪・大枝・成田氏などとともに、西大窪九郎三郎の名がみられ、確

1987年は国際居住年

International Year of Shelter for the Homeless



国連は、世界の住宅事情を2000年までの長期的展望に立つて改善するため、来年(1987年)を「国際居住年」と定めました。わが国においても、①深刻な居住問題を抱える開発途上国に対する国際協力の推進、②欧米諸国と比べ立ち遅れがみられるわが国の居住水準の向上の二つの目標に向けて、様々な活動が実施される予定です。この年を契機として日本や世界の住まいの問題について国民一人一人が高い関心を持ち、各種の活動に積極的に参加することが期待されています。

IYSH-1987



**松の緑を守るため
マツクイムシを駆除
（空中散布にご協力を）**



現在、マツクイムシによる被害が町内全域に広がっています。町では、このマツクイムシ被害から松を守るために、ヘリコプターによる薬剤散布を行います。

大切な松の緑を守るため、松林の所有者の皆さんや、薬剤散布地周辺の皆さんのご協力をお願いいたします。

◆場所 泉田字新田地内

◆期日 6月22日、7月6日

※なお、雨天、強風の場合は期日を変更するともあります。

◆散布時間

午前4時30分～午前8時

◆散布時の注意

①散布当日は散布地に入らな

いようにしてください。

②散布地周辺では窓を閉め、洗濯物や飲食物を戸外に出さないようにしてください。

③散布地周辺の牧草、桑などは、散布前に収穫してください。特に、桑は散布後十日間ほどは利用しないでください。

④散布後十日程度は、周辺にミツバチを移動させないでください。

⑤万が一、体に薬剤が付いたときは、すぐに石けんで洗い落としてください。

◎健全な山づくりのため、間伐、つる切りなどの保育に努めましょう。間伐に対しては、町で補助金制度を設けていますのでご利用ください。

問い合わせは、町役場産業課（☎八五二二一内線二三三）へお願いいたします。

**第一回見町ジュニア
リーダー研修会の
参加者募集について**



町教育委員会では、次の要領で第一回見町ジュニアリーダー研修会の参加者を募集いたします。

一、期日

8月4日～6日 二泊三日

二、場所

郡山少年自然の家（テント泊）

三、対象

町内中学生四十名（男二十名、女二十名）

四、研修内容

テント設営、野外炊飯、キャンプファイヤー、オリエンテーリング、リーダーとしての心得など

五、経費

四千元（交通費、食事、保険など）

六、申し込み方法

町教育委員会、町公民館

七、申し込み期日

七月十八日（土）

七月十八日（土）

定員になり次第締め切りとなります。

（申し込み要項は教育委員会、公民館、中学校にあり

ます）

※なお、不明の点は教育委員会

（☎八五二二一）か公民館（☎八五二二六七六）へお問い合わせください。

今月の納税

六月は、町県民税（第一期）の納税の月です。
納期内（六月三十日）に納入しましょう！！

好評!! 分譲中

山崎宮館住宅団地



残りあと21区画
お申し込み・お問い合わせは
役場企画課まで
(85-2111 内線252)

戸籍の窓口

(5月受付分)

出生おめでとうござい

みどり	子	名	保護者	男	落	坂
豊	(ゆたか)	横山	仁二	博生	北	西
一	(けいこう)	内海	修	和則	部	部
圭	太沙	佐藤	寿		田	田
耕	明	齋藤			々	々
梨		齋藤			小	坂
齋					源	西
さ					山	部
お					崎	北
り					山	部
					源	北
					宗	部
					明	部
					町	部

結婚おめでとうござい

佐氏	名	郎子	市美	一子	也	幸子	落
藤田	賢静	陽明	勇洋	洋洋	扶美	忠部	北
黒	木	澤	野	開	平	彦田	下
鈴	田	水	澤	野	開	平	部
半	佐	黒	鈴	半	平	本	田
本	佐	黒	鈴	半	平	本	部
片	佐	黒	鈴	半	平	本	部
安	佐	黒	鈴	半	平	本	部
鴨	佐	黒	鈴	半	平	本	部
鈴	佐	黒	鈴	半	平	本	部

おくやみ申し上げます

武	名	年	部	落
陵	武	76	北	北
上	め	84	寺	寺
田	裕	38	町	町
村	子	59	橋	橋
首	男	66	九	九
目	一	80	谷	谷
寺	郎	89	中	中
中	郎	66	二	二
上	郎	60	寺	寺
野	郎	77	取	取
黒	郎	84	内	内
島	郎	86	北	北
山	郎	86	部	部
藤	郎	69	大	大
藤	郎		光	光
戸	郎		板	板
橋	郎		第	第
	郎		橋	橋
	郎		泉	泉
	郎		第	第
	郎		光	光
	郎		鳥	鳥
	郎		川	川
	郎		島	島
	郎		川	川
	郎		母	母
	郎		田	田
	郎		町	町
	郎		宮	宮

人口と世帯

6月1日現在(前月比)5月中のうごき

人	男	5,778人 (-8)	転入	21人
	女	6,216人 (+3)	転出	20人
口	計	11,994人 (-5)	出生	7人
世帯数		2,897戸 (+1)	死亡	13人

県政モニターに 齋藤幸利さん



昭和六十二年年度の県政モニターに齋藤幸利さん(山根・三十二歳)が委嘱されました。

この制度は、県政に関する県民の意見、要望などを組織的、継続的に聴取し、行政の参考に資するために設けられたもので、任期は一年間です。前任の仲野博行さんから六月一日でパトントンタッチされました。

齋藤さんは、向こう一年間、県の仕事への意見、要望などを提出したり、アンケートに答え、県民代表の一人として活躍されることとなります。

クリーンアップ 作戦のお知らせ

毎年七月一日から三十一日までの一か月間は、河川愛護月間です。

町では、町内を流れる普蔵川、滝川、牛沢川の三河川を重点に、今年も左記の通り、関係部落、河川愛護団体の協力を得て、一斉にクリーンアップ作戦が展開されます。地区の皆さんのご協力をお願いします。

○実施月日 7月5日(日)
午前8時から午前10時まで

○実施河川

滝川 四・五km
牛沢川 二・〇km
普蔵川 一・五km



▲昨年のクリーンアップ作戦

新規学校卒業予定者の 求人申し込み説明会の 開催について

昭和六十三年三月新規学校卒業予定者の求人申し込みの受理は、中学校・高等学校が七月一日

日、大学・短期大学及び高等専門学校は七月十日以降からそれぞれ開始されるため、その説明会を左記により開催いたします。

記

一、日時及び会場

○昭和62年6月23日(火)

午後1時30分～ 保原町中
央公民館

○昭和62年6月25日(木)

午後1時30分～ 福島市民
会館大ホール

○昭和62年6月26日(金)

午後1時30分～ 川俣町商
工会

二、内容

(一)昭和六十三年三月新規学校卒業予定者を対象とする求人申し込み手続きなどについて
(二)各種助成金制度について

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)

時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

(相談員)

6月25日(木) 阿部 俊恒・村上ミチ子

7月4日(土) 後藤 一・玉手マルヨ

7月15日(水) 高橋藤右エ門・安藤トヨ



6月 水無月(みなづき)

21日(日) 父の日

22日(月) 夏至

23日(火) オリンピックデー

25日(木) 救らいの日

28日(日) 貿易記念日

7月 文月(ふみづき)

1日(木) 国民安全の日

2日(木) 半夏至

7日(火) 七夕

8日(水) 小暑

11日(土) 満月



国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

ふるさと文化 ふれあい教室

が開講

「ふるさと文化ふれあい教室」は、異年齢集団生活の体験と、地域のなたちとのふれあい学習を通して、ふるさとづくりの一翼を担う情操豊かな子供たちを育てるための教室です。
五月三十一日(日) 午後に関講しました。



▲開講したふるさと文化ふれあい教室



▲元気に町内ウォークラリーに挑戦

この目標にむかって、努力することをお約束しました。
開講式終了後、六つの班に編成し、町内ウォークラリーを行いました。
次回の学習は、六月二十一日「郷土の地形(阿津賀志山探訪)を知ろう」です。

町民学校生徒募集

公民館では、昭和六十二年度前期町民学校を左記のとおり開設いたしますので、町民の皆さんの参加をお願いいたします。

1 開設科目と内容

◇日曜大工教室(毎週日曜日)

- 内容 日常生活に役立つ
- 講師 県職業訓練指導員 阿部善雄先生
- 定員 二十名
- 時間 午前九時から十二時まで
- 回数 六回(5/29, 6/5, 12, 19, 26, 31)

◇料理教室(月一回第二土曜日)

- 内容 四季折々の料理
- 講師 樋口クッキングアカデミー 樋口和歌子先生
- 定員 三十名
- 時間 午後一時三十分から午後三時三十分
- 回数 八回(7/16, 23, 30, 8/6, 13, 20, 27)

◇写仏教室(毎週木曜日)

- 内容 仏像を描き写す
- 講師 石原晃登先生
- 定員 四十名
- 時間 午後一時三十分から午後三時三十分
- 回数 五回(5/29, 6/5, 12, 19, 26)

◇ワープロ教室(土曜日二回)

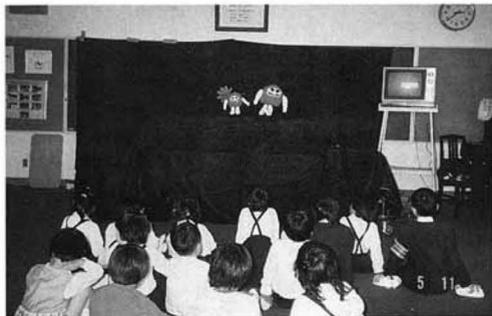
- 内容 ワープロの操作

- 講師 東北コピー 安藤利弘先生
- 定員 二十名(初心者)
- 時間 午後一時三十分から午後三時三十分
- 回数 二回(5/27, 6/3)

- 2 受講料・入講料五〇〇円 (申し込み時に納入)
- 材料費などは実費負担
- 3 対象 町内在住及び町内に勤務している成人男女
- 4 申し込み及び問い合わせ 町公民館まで

昭和六十二年 国見町教育委員会 重点施策

- 教育委員会は、町民憲章を基盤として未来をひらく生涯学習の充実、進展を図るため、「互いに力を合わせ励まし合い、心身ともに健康にして自主性、創造性に富む町民の育成」を指針として、昭和六十二年の重点施策を次のように設定しました。
- 一、自主性に富み、創造性を
 - 二、伸びゆく青少年の健全育成の推進
 - 三、自主的に生きがいを求める社会教育の推進
 - 四、ふるさと文化と伝統を生かした文化活動の推進
 - 五、健康と体力の増進を目指す社会体育の推進



▲こちらは楽しい人形劇

母と子の公民館活動

～藤田小学校～



▲「今日はこの本にしようかな」



▲「ふーん、なかなかおもしろい紙しばいだね」

公民館運営審議会 を開催

本年度第一回の国見町公民館運営審議会が、五月十九日午後開催されました。

最初に教育委員会から委嘱状の交付が行われ、続いて役員選任、事業計画について審議されました。

役員は次のとおり決まりました。

会長 秦 三郎(文連会長)
副会長 野村チヨノ(連婦会長)



▲熱心に意見交換する委員の皆さん

中央婦人学級、 成人学級が開講

五月二十七日中央婦人学級が二十七名、成人学級が三十四名



▲成人学級の開講式



▲中央婦人学級の開講式

の参加で開講しました。心の豊かさと、知識、技能、思考などを学習目標に、スタートいたしました。

町社会教育 委員決まる

社会教育委員とは、社会教育法と条例によって置かれる職で、社会教育に關し、教育委員会に助言する職務を行います。

(任期は二年間)

- ◇幕田貞一(東北中学校長)
- ◇安藤義吉(小坂小学校長)
- ◇瀬戸清司(藤田小学校長)
- ◇内池和子(読書会指導者)
- ◇東海林一樹(スポーツ少年団指導者)
- ◇早田精(婦人教育指導者)
- ◇奥山一夫(青少年育成指導者)
- ◇後藤昌伸(農業委員)
- ◇佐藤善次郎(学識経験者)
- ◇佐藤忠美(文教厚生委員長)

— 敬称略 —

町文化財保護審議会 委員決まる

文化財保護審議会とは、教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存、活用について調査審議する機関です。(任期は二年間)

- ◇佐久間直次(会長・塚野目)
- ◇菊池利雄(副会長・石母田)
- ◇阿部強(大木戸)
- ◇小野光一(徳江)
- ◇牧野武夫(藤田)
- ◇法井八夫(山崎)
- ◇安孫子光夫(泉田)
- ◇萩原盛良(梁川町)

— 敬称略 —

わだ い



伊達家の当主 泰宗さんが墓まいり

「独眼竜政宗」から数えて十八代目、伊達氏三十四世に当たる伊達泰宗さん(三七) 仙台市在住。が、五月二十六日、政宗ゆかりの地国見町を訪れました。

宮城県内にある伊達五山の各寺が、塚家の人々を対象に、「伊達氏のふるさと巡り」を企



▲「臥龍梅」を記念植樹する伊達泰宗さん

画、泰宗さんが招待されました。一行は、大型バス三台に分乗した百二十数人で、伊達氏の始祖・朝宗の夫人の墓がある光明寺の福聚寺を訪れました。

墓所の前で泰宗さんは先祖の霊を慰めた後、境内で、臥龍梅(がりようばい)の苗木を記念植樹しました。この臥龍梅は、政宗が朝鮮征伐の際に持ち帰ったとされています。

この日はあいにくの雨模様でしたが、一行はこの後、桑折町にある朝宗の墓所へと向かいました。

水不足の影響で延び延びになっていた町営牧場の放牧式が、五月二十五日、予定より二週間遅れで行われました。

高橋友義牧野組合長はじめ、八島忠雄町長職務代理者助役、斎藤光吉町議会議業常任委員長、県や町、畜産農家の関係者ら五十人が見守る中、半半ぶりに牛舎から放たれた牛たちは、広々とした牧場をのびのびと駆け回っていました。

この日放牧された牛は、町内三十二戸の農家から放牧される

半年ぶりに 放牧



▲のんびりと草をはむ牛たち

五十七頭のうちの三十四頭で、十月中旬の閉牧までには、子牛十数頭が生まれる予定です。

閉牧までの五か月間、牛たちは、ヤマでの生活を存分に楽しむことでしょう。

「春のつどい」でモチつき

晴天に恵まれた五月二十日、小坂小学校では、今年の稲の豊作を願って「春のつどい」が開かれ、百三十九人の全校生徒がモチつきを楽しみました。

このモチつきは、毎年「冬のことい」で行っていましたが、天候不順などの心配もあり、今年度からは「春のつどい」に変



▲小坂小で行われたモチつき

更したものです。この日に先立ち、五月十一日に全校生で田植えを行いました。その労をねぎらうとともに、これから苗の成長を祈り、みんなで助け合いながら集活活動をする事によって、協力の大切さをとらえさせることを目的に「つどい」が開かれました。

各学年から二人ずつのお父さんお母さんに手伝ってもらいながら、児童たちはかわがるモチをついていました。つきあがったモチは、さっそくあんこモチにして舌つづみを打っていました。

この後、ダンスやウルトライズ、紅白リレーなどをして、低学年も高学年も一緒になって楽しいひとときを過ごしました。

編集日記

○五月二十五日、放牧式の日、町内唯一のモリアガエルの生息地である馬頭山蛇沼を訪れました。例年は、六月中旬ごろ産卵しますが、今年は、暖かいせいもあってか、あるいは、数日前に降った雨のせいも、卵塊はほとんどなく、大半はオタマジャクシにかえっていました。



むせかえるような草いきれの中、モリアガエル独特の澄んだ鳴き声が響きわたる、涼風を誘ってくれるようでした。

○六月に入り、連日、夏を思わせるような暑い日が続いています。梅雨入り前の猛暑といったところで、真夏日(最高気温が三十度以上)も何日か記録しています。盆地特有のうだるような暑さで体に不調をきたさる方が多いです。十分に注意したいものです。